

子どもたちに 元気と笑顔があふれる

市では、東日本大震災や原発事故の影響により生じた学習環境の変化に適切に対応するため、特色ある教育活動を支援する「田村っ子の元気を支援する事業」を進めています。
今回は、25年度に行った市内16小学校の取り組みを紹介します。

菅谷小学校



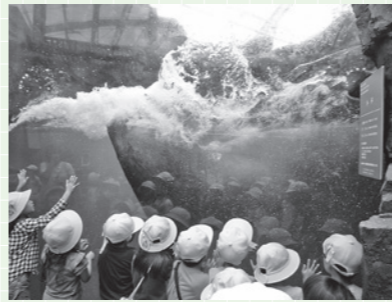
「田村っ子の元気を支援する事業」を活用し、マジックショーを行いました。
目の前でマジックを見るのは初めてという児童がほとんどで、真剣なまなざしでマジックの素晴らしさや不思議さに見入っていました。人が空中に浮いたり、人が入れ替わったりするイリュージョンなども行われ、子どもたちはとても感動していました。

広瀬小学校



7月、昨年度に続いて「キッズニア東京」に行ってきました。2回目ということで、新たな職業体験に取り組んだ児童が多く、将来への夢を膨らませることができました。
これからは、スケット教室で体力アップを図ったり、施設訪問でお年寄りの方との交流を通して思いやりの心を高めたりして、たくましく生きる力を培っていきます。

大越小学校



大越小学校1・2年生は「大越っ子体験活動」で、いわきのアクアマリンふくしまに行ってきました。
子どもたちは、餌をもらいに水の中に飛び込むトドの迫力や大水槽の中を泳ぐ魚の群れの美しさに歓声を上げたり、タッチプールのウニやヒトデに恐る恐る触れてみたりと、海の自然の素晴らしさを満喫しました。

滝根小学校



さまざまな環境下の現在、子どもたちは生き物に直接ふれる機会が少なくなりました。
そんな中、今回の活動に参加した子どもたちは、石籬ふれあい牧場でさまざまな動物と触れ合うことができました。
また、広い自然空間の中で自然観察をしたり、ゲームをしたりして身体を動かすことができました。

古道小学校



本年度は子どもたちに文化的活動を体験させることを目的として、陶芸教室を行いました。
本物の粘土を使っての制作に、初めは少し戸惑う子どもたちもいましたが、作業が進むにつれていろいろなアイデアが出てきて、個性的な作品がたくさんできました。
どんな作品に焼き上がったかとても楽しみです。

岩井沢小学校



岩井沢小学校と古道小学校の1〜3年生は6月に見学学習で、ムシテックワールドに行きました。
は虫類や昆虫など、いろいろな生き物に直接触れることができました。
縦割りの班活動では、3年生がリーダーとなって、1・2年生と力を合わせて楽しく有意義な活動にできました。

関本小学校



9月27日に全校見学学習で、キッズニア東京へ行ってきました。子どもたちは、自分がやってみたい仕事のパビリオンに進んで取り組みました。「自分が働いてもらったお金がうれしかった」「働いたのにお金が少ししかもらえなかった。買い物したらすぐになくなっちゃった。働くのってたいへんだと思った」など、お金の大切さや働くことの楽しさ、大変さを学ぶことができました。

常葉小学校



常葉っ子元気支援のために、昨年度に実施した「一輪車」「なわとび」「HIPHOPダンス」に、本年度は「陸上」を加え、元日本記録保持者や現役の世界チャンピオンを講師として招き、4つの特別授業を企画しました。
高度で華麗な技を目にした子どもたちの中には、授業後、高い目標に向かって挑戦する姿が多く見られました。

西向小学校



全校生でスパリゾートハワイアンズに行ってきました。
子どもたちは、流れるプールやウォーターライダーで思いきり遊びました。昼食はバイキングを楽しんで、午後はフラダンスショーを見ました。ステージに上がって踊った子もいました。笑顔いっぱい、おなかもいっぱいのお満足の日となりました。

芦沢小学校



晴天の下、グランデコ・ホテル（北塩原村）で、「あしっこだキドキ体験活動・秋」を行いました。午前中はゴンドラ。そこから見る景色は、まさに絶景でした。トレッキングは「熊出没注意」の看板を見るやいなや、子どもたちの大合唱が始まりました。午後4時5人グループ、あちこちで「やったー」などの歓声が上がりました。ほとんど初めて体験することは、思い出深い活動になりました。